

中京郵便局

設計:逓信省営繕課(吉井茂則・三橋四郎)

竣工:明治35年(1902年)

住所:京都府中京区東洞院東入る菱屋町30番地

交通:地下鉄烏丸御池駅徒歩1分



東海道の終点である三条通は江戸時代から明治時代まで京都経済の中心地であった。また、戦災・震災の影響も特になかったため、金融機関関係の近代建築が多く残っており、これもそのひとつである。

昭和48年(1973)、郵便事業の機械化に対応しきれなくなった為、郵政省(当時)はこの中京郵便局の改築を発表した。それに対し、市民や全国の建築関係者等から保存を要求する声があがった。そこで、外壁だけを残して内部を新築する『ファサード保存』技法が採られた。

本格的なファサード保存としては、これが日本最初である。工事の性格上、昭和51年(1976)3月から同53年(1978)年3月までのちょうど2年の工期を必要とした。これは成功し、現在もその当時の雰囲気を良く伝えている。

昭和61年(1986)、京都市登録有形文化財に指定された。

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。

雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。